

編集後記

- 年度末になると研究業績の一覧を大学に提出しなければなりません。その際、「査読制度のあるジャーナルに掲載された論文」を区分して示すことが、最近、求められるようになりました。会計学では残念ながら査読制度を設けている和雑誌が少なく、私は後ろめたい思いをしながらゼロと記入しました。その意味では『現代ディスクロージャー研究』は貴重な存在です。今後、発表論文について上記のような区分が一般的になれば、われわれ会計学者の多くは主要業績をゼロと記入しなければならないでしょう。そのような事態を回避するためにも、会員の皆様、どうぞ本誌へふるってご投稿下さい。
- 第4号への投稿は全部で5本でした。査読者は「投稿規定」で示しましたが、非常に丁寧に読んでいただき、貴重なご意見を賜りました。査読者の皆様には改めてお礼を申し上げます。厳密な査読と論文修正のプロセスを経て、3本の論文と2本の研究ノートが採択されました。
- 第4回研究大会は名古屋市立大学大学院経済学研究科で開催されました。「ビッグバン後のディスクロージャーと監査問題」を統一テーマにして、活発な議論が行われました。第5回大会は大阪経済大学で12月6日に開催される予定です。統一テーマは「四半期決算の意義と問題点」です。ホットなテーマなので、活発な議論がなされることでしょう。
- 皆様の協力を得て、ディスクロージャー研究学会と『現代ディスクロージャー研究』が、ますます発展することを祈っております。今回から編集委員会の陣容が変わりました。編集委員長は須田一幸が担当し、編集委員長補佐が薄井彰氏です。宜しくお願い致します。

(須田)

現代ディスクロージャー研究 No.4

2003年3月31日 発行

◎発行者 ディスクロージャー研究学会
発行所 〒564-8680
大阪府吹田市山手町3-3-35
関西大学商学部：柴研究室内
TEL 06-6368-1121(代)

印刷所 ナニワ印刷株式会社
